



みどりの里

宇奈月小学校だより 第15号

平成29年3月16日

はばたけ 宇奈月っ子！

—Let's Charengel...夢に向かって—



校長 岩井 芳生

春の足音がもうそこまで聞こえています。

早いもので、私が宇奈月小学校に着任して2年が過ぎようとしています。その間、保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育に対して多大なご協力やご支援をいただきました。厚くお礼申し上げます。

保護者、地域の皆様のご理解を得ながら、全教職員が一丸となって子供たちの教育に当たってきました。一生懸命子供たちの成長を支えてきたつもりでおります。そして、この学校だより「みどりの里」で、宇奈月小学校の子供たちのよさを精一杯伝えたつもりでしたがいかがだったでしょうか。学校と家庭とが協力して、一枚岩となって指導していくことが大切です。さらに、これからも学校と家庭との連携を深めていきたいと思っています。今後とも本校の教育活動へのご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

・・・巣立ちゆく6年生へ・・・

6年生49名は、いよいよ明日17日に卒業式をむかえます。

6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。心よりお祝いいいたします。

みなさんの巣立ちにあたって「挑戦」というのはなむけの言葉を贈りたいと思います。英語では“Charengel(チャレンジ)”といいますね。自分の夢に向かって、何事にも前向きにチャレンジしてってください。夢に向かって一歩一歩努力している人は、輝いています。自分が選んだ道を、挫折や失敗を恐れず、未来を信じて、あきらめずに突き進んでいってくれることを願っています。しかし、夢を実現することは容易ではありません。だれもがオリンピックの選手になれるわけではありません。絶望したりくじけそうになったりすることもあるでしょう。多くの人と出会うことによって、いろいろな考えに触れ、悩みながらも、夢に向かって進んでいってほしい。折り合いをつけていくことも、心ならずも必要になってくるかもしれません。自分の成長とともに、目標も変わって当然です。自分にふさわしい道を探しながら進むことも大切なことです。

皆さんは「世界に一つだけの花」。野に咲く花のようにたくましく、中学生になっても、大人になっても、今の自分にできることを一生懸命やって、自分らしい素敵な花を咲かせてください。一人一人の輝き(夢・目標・可能性)を大切に、心身ともに健康で、困難を乗り越えながら、野に咲く花のように・・・



6年生のみなさんありがとう！

がんばっている子供たち(2・3月)

**** 感動の「6年生を送る会」(2月24日)****

年度末となり、学校では子供たちがしっかりと今の学年のまとめをして、次の学年への準備を進めています。

2月の中旬からインフルエンザがこの宇奈月小学校でも猛威を振るい、多くの子供たちが罹患してしまいました。しかし、まるでそのことが嘘のように、2月の後半、「6年生を送る会」は、ほぼ全員が参加して開催することができました。1年生から5年生は、一生懸命6年生に感謝の気持ちを届けようとしていまし



1年「うな月の大きなかぶ」

た。6年生も、その気持ちに一生懸命応えようとしていました。宇奈月小学校が、1年生から6年生、先生方、そして保護者、ご家族、地域の皆さんも巻き込んで一つになったように思いました。「宇奈月小学校ってすばらしいな！宇奈月小学校の子供たちってすごいな！」と思った瞬間でもありました。



2年「ホップ・ステップ・ダンス」



4年「さるかに合戦」

3年「うな小 思い出 イッテQ！」

(宇奈月小HPにもたくさんの写真がのっていますので、ぜひごらんください。)



**5年「出しましょう お祝い感！
伝えましょう 感謝の気持ち」**



**6年「YELL(エール)から
飛び立とう 未来の空へ」**

**先生方から
「世界にひとつだけの花」**



学校安全パトロール隊感謝の集い(2月24日)

毎日、子供たちの安全を守ってくださっている安全パトロール隊の皆さん、駐在さん、スクールバスの運転手さん、駅の誘導員さんに感謝の気持ちを伝えました。



桜の記念植樹：6年生（3月1日）

アーコレードというめずらしい桜です。

下立保育所・うらやま保育園の

年長さんと2年生との交流会（3月7日）

4月から小学生になる子供たちと交流しました。いっしょに遊びながら小学校の雰囲気を感じてもらいました。



3月・4月中旬までの予定

3月16日(木) 卒業証書授与式前日準備
 17日(金) 小学校卒業証書授与式
 20日(月) 春分の日(祝日)
 22日(水) 地区児童会(2限)、5限で下校
 23日(木) 給食最終日(5限まで)
 ランチルーム掃除・ワックスかけ
 24日(金) 修了式・離任式
 25日(土) ~ 4月5日(水) 学年末休業日

4月 6日(木) 離任式・着任式・始業式
 7日(金) 宇奈月中学校入学式、給食開始(2~6年)
 10日(月) 入学式
 11日(火) 安全パトロール隊対面式、給食開始(1年)
 聴力検査(2・3年)、地区児童会
 学力調査: 国・理(3~6年)
 12日(水) 学力調査: 社・算(3~6年)
 聴力検査(1年・5年)
 13日(木) 身体・視力測定(全学年)
 14日(金) 1・2年交通安全教室

(変更があったときは学年だより等でご連絡いたします)



家庭教育シリーズ

「あたりまえ」って本当に「あたりまえ」?

私は宇奈月小学校に着任以来、子供たちに「あたりまえのことをあたりまえにやりましょう」と言い続けてきました。ところが最近思うことは、もしかしたら「あたりまえ」ってとっても難しいことではないのか。あたりまえのことができれば世話はないと思うようになりました。あたりまえのこととは一つや二つではありません。たくさんあるのです。大人でも難しいかもしれません。「おはようございます」「ありがとう」「ごめんなさい」「はい」だけではありません。箸や鉛筆の持ち方もそうですね。玄関でくつをそろえることも、とってもレベルの高いあたりまえかもしれません。

子供のよさは、あたりまえのなかにあるように思います。「〇年生なんだから、できてあたりまえ! できて当然!」という見方をしてしまうと、子供の中にある「よさ」や「成長」が見えなくなってしまう。たとえば、(ちょっと極端かもしれませんが) 元気に学校へ行っていること、交通事故に気を付けて学校に登校していること、宿題を忘れずにすること・・・あたりまえのことだけど、なんてありがたいことかと思えます。まして、ささやかに、子供たちと感謝の心が響き合ったり、喜びを分かち合えたりしたときは、うれしいかぎりです。ありふれた日常の中に、子供の「ちょっといいなと思われること」「以前できなかったけど、今はできていること」「家の役に立っていること」を見つけて、ぜひ声をかけてみてください。「ありがとう」でもいいし「がんばっているね」でもいいと思います。子供たちは「できること」「してあげること」を増やして、どんどん成長していきます。「あたりまえ」のことができたときこそ、ほめてあげるときではないでしょうか。

(文責 岩井)

